

北海道農業の基幹作物てん菜の生産を守ることを求める意見書

てん菜は、北海道農業の基幹作物として重要な役割をはたしています。北海道のてん菜糖は、国産砂糖の８割を占め、砂糖の自給率４０％をささえています。

国産砂糖生産は、輸入粗糖、輸入加糖調製品に課する調整金と国費を財源とする糖価調整制度で、てん菜生産者、製糖事業者への交付金等で生産振興が図られ、交付金対象数量として、てん菜産糖量６４万トン进行しています。

輸入調整金収支の赤字を理由に、産糖量６４万トン枠を削減する動きが強まっており、てん菜生産者と地域経済にとって大きな問題になっています。

世界的な食料危機、食料高騰のなか、輸入に依存した食に不安が広がっています。砂糖の輸入を減らし、国産砂糖を守り本腰を入れて食料自給率を引き上げる政策に転換することが必要です。

よって次の対策をつよく求めます。

- １．食料の安定供給、食料自給率を引き上げるために、てん菜生産への支援をつよめること。
- ２．製糖事業者への支援をつよめること。
- ３．国の責任で輸入調整金の収支の改善を図ること。

令和４年６月１７日

北海道根室市議会

提出先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣
財務大臣 外務大臣 農林水産大臣